

お正月特集

このまちで笑顔になる



新年あけましておめでとうでございます。区民の皆様におかれましては、元号が「令和」となっております。初めの新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は度重なる台風の襲来で、国内に甚大な被害がもたらされました。幸い区では大きな被害がありませんでしたが、改めて「災害で一人の犠牲者も出さない」と強く決意し、これまでの震災対策に加え、風水害対策のさらなる充実を図っております。

さて、今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界各国から多くの人々が東京を訪れます。また、7月20日には、全国を巡ってきた聖火リレーが区を走行し、南千住野球場で聖火の到着を祝う式典「セレブレーション」を行う予定です。

そして、十二支最初の子年である今年、区は新しいチャレンジに力を入れて参ります。児童相談所機能を有する「子ども家庭総合センター」を開設し、「未来社会の守護者」である子どもたちが健やかに成長できるよう万全の体制を整えて参ります。さらには大規模改修した荒川総合スポーツセンターや、新たな尾久図書館、(仮称)日暮里地域活性化施設を地域の顔として次々と開設していきます。

私はこれからも、区民の皆様が一番近い基礎自治体の長として、加速度的に変化する社会状況の中で常に未来を見据え、さまざまな施策を実行し、区民の皆様誰もが真に幸福を実感できる温かい地域社会を築くため、全力で取り組んで参ります。

結びに、本年が区民の皆様にとって、素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のあいさついたします。



荒川区長
にしかわ たいいちろう
西川 太一郎

年頭にあたって